

# インタラクションにおける今性と応答性

開 一夫

東京大学院総合文化研究科, 大学大学院総合文化研究科広域システム科学専攻

## 講演者紹介

工学博士。1963年富山県生まれ。東京大学大学院総合文化研究科広域科学専攻 教授。(旧)通産省電子技術総合研究所 主任研究員を経て、2000年より東京大学に勤務。乳幼児の心理や行動、脳の発達過程について科学的にアプローチする「赤ちゃん学」を研究。大学では「情報」や「発達科学」を教えている。

日本赤ちゃん学会常任理事。日本子ども学会常任理事。日本 学術会議連携会員。主な著書・編書に『母性と社会性の起源』(岩波講座:コミュニケーションの認知科学 3 巻)、『赤ちゃんの不思議』(岩波書店)、『日曜ピアジェ赤ちゃん学のすすめ』(岩波書店)、『ソーシャルブレインズ-自己と他者を認知する脳』(東大出版)など。